

平素は同志社大学の教育研究にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

創立 150 周年を迎える 2025 年に向け、中長期ビジョンである「同志社大学ビジョン 2025」を掲げ、ビジョン推進のため立ち上げました「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」への皆さまからのご協力に対しまして、深く感謝申し上げます。皆さまから賜りましたご寄付は、ご指定の用途に応じ有効に活用させていただきます。引き続き、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Newsletter では 2019 年度の取り組みについてご紹介します。

## 同志社大学チュービンゲン EU キャンパス 2019 年度より教育事業の本格展開を開始!



本学の教育理念の一つである「国際主義」の伸展と深化を図り、同志社創立 150 周年に向けて世界を牽引する教育・研究体制を構築するために、本学初の海外キャンパス「同志社大学チュービンゲン EU キャンパス」（以下、EU キャンパス）をドイツ・チュービンゲン大学内に開設。同志社大学とドイツやヨーロッパ諸国をつなぐ新拠点を目指して、両大学の学生・教員による学術交流などを積極的に推進しています。また、2019 年度より EU キャンパス初の本格的な教育事業として、全学共通教養教育科目で構成する「EU キャンパスプログラム」が実施され、現地での教育事業の展開がいよいよ始まりました。2020 年度からはさらに、学部専門型教育プログラムを実施することが決定し、EU キャンパスにおいて、年間を通じた教育事業の実施環境が確立されることになります。



### 新島襄の理想を具現化する本学初の海外キャンパス

新島襄は世界に目を向け、そこから学ぶことの大切さを痛感し、国際的に評価される日本人を育成したいと考えました。その教育理念の実質化を目指し、2017 年度に本学初の海外キャンパスとして、ドイツのチュービンゲン大学内に開設したのが「同志社大学チュービンゲン EU キャンパス」です。新島襄がヨーロッパの教育機関を視察後、筆頭にあげたのもドイツでした。1477 年に創立されたチュービンゲン大学は、その長い歴史の中で数多くの著名人を世に送り出し、ノーベル賞受賞者も 11 人輩出しています。建学の理念に「革新性」、「学際性」、「国際性」を掲げるチュービンゲン大学との学術交流をさらに推進し、同志社大学とヨーロッパ諸国を結ぶ拠点にしたいと考えています。



EU キャンパス支援室長  
和田喜彦 経済学部教授

# EU キャンパスプログラム

2019年4月11日～8月11日まで、EUキャンパスにおける初めての学生プログラムとして、EUキャンパスプログラムが実施されました。チュービンゲン大学の教員によるドイツ語授業や Intercultural Studies（日本学科学生との共修）および本学教員による EU キャンパス特別講義を通して、ドイツ語・文化だけでなく EU について幅広く学ぶ機会となりました。

## 2019 年度に実施した EU キャンパスプログラムの概要

以下の科目で構成されており、ドイツ語運用能力を高め、ドイツを含むヨーロッパの文化や社会、異なる価値観への理解を深めることによって、真の国際人への新たな一歩を踏み出してもらうことを目的としています。

### 「Semesterプログラム・ドイツ語 I、II」

チュービンゲン大学の教員によるドイツ語授業の他、フィールドトリップや小学校訪問など学外実習を実施しました。また、ドイツの社会や文化についてのグループセッションやドイツ語でのプレゼンテーションも行うことで、ドイツ語運用能力の向上だけでなく、ドイツ文化・社会への理解を深めました。

### 「Intercultural Studies」

日本とドイツ、アジアとヨーロッパの共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的として実施された、チュービンゲン大学の学生との共修科目です。

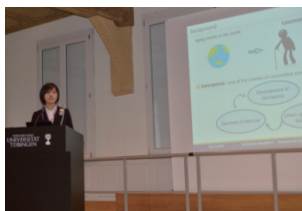
### 「EU キャンパス特別講義」

ドイツおよびヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的としており、2019年度は本学の建学の精神「良心教育」をテーマに取り上げました。

## EU キャンパスプログラムに参加して

グローバル地域文化学部 吉田菜津希

留学を終えた今、このプログラムに関わってくださったすべての方々への感謝の気持ちでいっぱいです。私にとって、ドイツでの人々との出会いが一番の宝物です。しばらく会えないのは寂しいですが、私は日本で頑張れることを精いっぱい頑張っており、またいつかパワーアップした姿を見せられればと思います。今回の留学の機会を与えてくださったすべての方に感謝いたします。本当にありがとうございました。



## チュービンゲン大学で Doshisha Week を開催!

チュービンゲン大学に同志社大学 EU キャンパスを開設したことに伴う両大学の研究交流を目的として、2019年11月25日から29日にかけて、チュービンゲン大学にて研究シンポジウム「Doshisha Week」を開催しました。日本、ドイツをはじめとして、アジア、ヨーロッパの10か国から約50名の研究者や専門家が集まり、5日間にわたって、「Doshisha Space-DREAM Project」（私立大学研究ブランディング事業、宇宙生体医学研究プロジェクト）、「Modernity's Challenges to Law and Dispute Resolution」（法と紛争解決）、「Baby Science」（赤ちゃん学）をテーマに研究発表を行いました。チュービンゲン大学の Bernd Engler 学長や本学副学長・研究開発推進機構長の横川隆一教授も出席し、今後両大学が教育・研究においてさらなる連携を進めていくことを確認しました。また、理工学研究科の大内陽さんが宇宙生体医学研究プロジェクトの研究発表を行ったことや、ダブル・ディグリープログラムにて、イギリス・シェフィールド大学に留学中の法学研究科徳田逸人さんが国際紛争解決のセッションに参加されるなど、学生の国際研究交流にもつながりました。2020年度以降の「Doshisha Week」でも研究・教育にわたり、両大学の交流を図っていきます。

## 2020 年度、EU キャンパスプログラムの大幅拡充が決定!!

秋学期開講の学部専門型教育プログラム「ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム」の新設が決定いたしました。これにより、従来の春学期開講のプログラムとあわせて、EU キャンパスにおいて年間を通じた教育プログラムの実施が可能となります。また、年間を通じたプログラムの提供に伴い、「EU キャンパスプログラム」の名称は以下の春学期開講・秋学期開講の両プログラムを総称する名称に変更となります。

### 春学期開講科目 ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム

「全学共通教養教育科目」として提供される「Semesterプログラム・ドイツ語 I、II」、「Intercultural Studies」、「EU キャンパス特別講義」の4科目、合計14単位で構成される教育プログラムです。2019年度実施の「EU キャンパスプログラム」から名称や単位数の変更等を行い、開講されます。詳細は上記の EU キャンパスプログラム概要をご覧ください。

### 秋学期開講科目 ヨーロピアン・スタディーズ EU キャンパスプログラム

チュービンゲン大学生との共修科目である IES※科目（6科目）と本学学部が設置する科目（6科目）で構成される教育プログラムです。本学の海外キャンパスである EU キャンパスでのプログラムとなりますので、その特色を活かし、チュービンゲン大学の多様な国籍の学生と英語または日本語で共に学びながら、ドイツ、ヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。

※IES=International & European Studies の略